

第5回無細胞科学松山国際シンポジウム

September 28th (Fri.), 2007, ANA Hotel Matsuyama, 3-2-1 Inchiban-cho, Matsuyama, Japan

開催報告

【第5回 無細胞科学松山国際シンポジウム】

2007年9月28日(金)、松山全日空ホテルにおいて「プロテイン・アイランド・松山 国際シンポジウム 2007『第5回無細胞科学松山国際シンポジウム』」が開催されました。今回は無細胞タンパク質合成法の応用の可能性に焦点を合わせ、国内をはじめ、アメリカ、カナダから第一線の研究者を招待し、最新の研究状況についての講演をいただきました。

大学・企業からの研究者、大学院生など約200人が参加し、有意義な会議となりました。



開会挨拶



講演の様子



質疑応答の様子



ポスターセッション



ポスターセッション



ポスターセッション



企業ブース展示



企業ブース展示



企業ブース展示

懇親会

シンポジウム終了後の懇親会では、国際会議の余韻に浸りながら、活発な意見交換が行われました。松山市役所有志による水軍太鼓のパフォーマンスもあり、懇親会を盛り上げてくれました。

【一般向け体験セミナー】

2007年9月29日(土)、松山市総合コミュニティセンターにおいて、PIM国際シンポジウム 2007一般向けセミナー「理科大好き！～タンパク質の世界へようこそ～」を開催し、市内の中高生をはじめ約200人の市民が参加しました。

今回のセミナーでは、初めての試みとして、中学生のみなさんに、遠藤弥重太教授が開発した「無細胞 タンパク質合成技術」を使用した遺伝子暗号解読キットによって、実際にタンパク質を遺伝子から合成 する実験や、ブロッコリーからDNAを取り出す実験にチャレンジしました。





林秀則教授による実験の解説と共に、遠藤教授、前日の国際シンポジウムでも講演していただいたウィスコンシン大学のブライアンG. フォックス教授から、遺伝子やタンパク質について講演があり、参加者は熱心に耳を傾けていました



今回は、タイと中国からも高校生を招待し、日本の中学生と一緒に実験を行い、国際交流の場としても貴重な機会となりました。



質疑応答では、中学生の中から時間一杯まで積極的にたくさんの質問が出ていて、若者の理科離れが世界的な問題になっている中、このセミナーに参加した若者達が、科学に興味を持ち、新たな人材育成に繋がればと期待しています。聴講として参加した市民の皆様も、中学生が実験する様子を見学し、サイエンスの面白さを実感していただけただけようです。



プログラム

第5回 無細胞科学松山国際シンポジウム

日時: 2007年9月28日(金)

会場: 松山全日空ホテル本館4階 ダイアモンドボールルーム(A会場)

使用言語: 英語(日本語への同時通訳はありません)

時間帯

内容

8:45-9:30	受付開始
9:30-9:35	開会あいさつ
9:35-9:50	遠藤 弥重太 (愛媛大学) “Overview of the Conference”
9:50-10:30	デミトリー A. ヴィナロフ (米国 ウィスコンシン大学マディソン校) “The wheat germ cell-free proteomics at the CESG”
10:30-10:45	コーヒーブレイク
10:45-11:25	ブライアン G. フォックス (米国 ウィスコンシン大学マディソン校) “Integration of cell-based and cell-free protein production systems for structure/function discovery”
11:25-12:05	ステファン K. バーレイ (米国 SGX Pharmaceuticals社) “Fragment-based discovery of selective, orally bioavailable tyrosine kinase inhibitors for targeted treatment of human cancers”
12:05-13:25	昼食休憩
13:25-14:05	ランス スチュワート (米国 deCODE biostructures社) “Fragments of Life™ (FOL) for Lead Identification and Optimization”
14:05-14:45	田之倉 優 (東京大学) “Application of Wheat Germ Cell-Free Translation System in Structural Biology: Crystal Structure of the Restriction Enzyme PabI”
14:45-15:00	コーヒーブレイク
15:00-15:40	ジョシュア ラビアー (米国 ハーバード大学) “Functional Proteomics for Biomarker and Target Discovery”
15:40-16:00	澤崎 達也 (愛媛大学) “Development of a high-throughput biochemical annotation method of genetic information based on cell-free protein synthesis.”
16:00-16:15	コーヒーブレイク
16:15-16:35	戸澤 譲 (愛媛大学) “Applications of Cell-Free System for Plant Biotechnology”
16:35-16:55	イヴォナ コジラドズキ (カナダ トロント大学) “The Structural Genomics Consortium (SGC): A Profile”
16:55-17:15	坪井 敬文 (愛媛大学) “Wheat germ cell-free system: A breakthrough in malaria vaccine research”
17:15-17:20	閉会あいさつ
17:20-18:00	ポスターセッション (B会場)
懇親会 時間: 18:00 ~ 20:00 会場: 松山全日空ホテル南館2F サファイアールーム 会費: 一般 4,000円, 学生 2,000円 (当日受付にてお支払い下さい。)	

一般向けセミナー 理科大好き！～タンパク質の世界へようこそ～ 日時: 平成19年9月29日(土) 会場: 松山市総合コミュニティセンター 3F 大会議室			
時間	内容		詳細
13:00	開会 挨拶	15分	愛媛大学長・愛媛県知事・松山市長 (※予定)
13:15		30分	

	実験1 ・ 講演1		林 秀則(愛媛大学無細胞生命科学工学研究センター 教授) 実験1:試験管の中でタンパク質を作ろう! 講演1:遺伝子のサイズは豪華客船!?
13:45	講演2	30分	遠藤 弥重太(愛媛大学無細胞生命科学工学研究センター長 教授) 講演2:新しい理科授業 私って、生き物って? —神秘的な生命の原理を探ってみよう—
14:15	休憩	15分	
14:30	講演3	30分	ブライアン G.フォックス(ウィスコンシン大学マディソン校 教授) 講演3:「酵素」と言っても、ダイナマイトを食うタンパク質の話 ※通訳あり
15:00	実験2 ・ 解説	45分	林 秀則(愛媛大学無細胞生命科学工学研究センター 教授) 実験2:ブロッコリーからDNAを取り出そう! 解説:実験1の解説
15:45	質疑 応答	15分	
16:00	閉会		

組織一覧

主 催 : 愛媛大学<, 愛媛県, 松山市, 松山商工会議所

協 賛 : 大塚製薬株式会社, オリンパス株式会社, 株式会社セルフフリーサイエンス
大鵬薬品工業株式会社, 株式会社パーキンエルマージャパン

運 営 体 : プロテイン・アイランド・松山(PIM)国際シンポジウム実行委員会

共 催 : 愛媛経済同友会, 愛媛県中小企業団体中央会, 愛媛県中小企業家同友会, 財団法人えひめ産業振興財団, 財団法人松山観光コンベンション協会, NHK松山放送局, 愛媛新聞社

後 援 : 日本生化学会, 日本化学会, 日本農芸化学会

事 務 局 : プロテイン・アイランド・松山(PIM)国際シンポジウム実行委員会事務局



Organized by Ehime University, Ehime Prefectural Government,
Matsuyama City Hall, Matsuyama Chamber of Commerce and Industry
Operated by Protein Island Matsuyama International Symposium Organizing Committee